令和７年度都立青井高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組
国語	・「書くこと」の指導の充実 ・「話すこと・聞くこと」の指導の充実	・4月の教科会で年間指導計画について共有、確認。 ・全学年漢字能力検定試験受検。 ・各学年でペア・ワークの取り組み実施。
地歴公民	・社会的な見方・考え方を働かせた活動	・様々な資料を読み解く活動の充実 ・一人一台端末等を利用した調べ学習の充実
数学	・数学的な見方、考え方 ・考え方を活かした数学的活動	・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる資料作成 ・問題解決の過程において、論理的思考を重視した授業の実施
理科	・実験を通しての自然現象についての探求活動を重視	・考察・推論したことや結論について、ＩＣＴを利用しての表現を生徒同士で共有できるようにする。
体育	・男女共習の拡大に向けて取り組む	・体力や技能の程度，性別や障害の有無等にかかわらず運動やスポーツを楽しむことができるよう種目の選定を行う
芸術	・知識・技能を基盤とした思考力・判断力・表現力等の 育成	・課題内容を年間で紐づけ、課題ごとに振り返り、生徒の進度や理解度、表現の幅等を鑑み、重点課題を踏まえ、課題のアプローチ方法を工夫する。
外国語	・「書くこと」と「話すこと」への前向きな態度	・必修科目にて、学期に１回パフォーマンステストを実施 ・学期に2回、コミュニケーション英語での書く活動の実施
家庭	・「生活に生かす」ための授業実践 ・実践的・体験的な学習活動の充実	・教科会で、授業における指導内容を共有し、指導計画を確認する。 ・被服実習を通年を通して行う ・座学でも体験的な学習活動を多く取り入れる。 ・生徒の実生活に身近な題材を活用した授業展開を行う。 ・主体的・対話的な学びの機会をつくる。
情報	・「課題解決」につなげる実習の充実	・わかりやすい教科書を採用し、着実に知識の定着を図る。